

# アセスメント

# 文

学力アセスメントは、「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算する」「推論する」についてを総合的に評価する必要があります。

学力面の実態を把握し、どのようなところにつまずきがあり、どのように指導していくのかを関連づけて考えていく必要があります。また、学力をみる上で心理的要因も忘れてはいけません。子どもにとって認知過程の問題は学習面に影響を与えている場合があります、サポート時の有効な手がかりです。

ここでは、学力アセスメントの内「聞く」「話す」「読む」「書く」についてのチェックリストをあげました。

## 聞く、話す、読む、書くについて

---

### [聞くこと]

- ・聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き間違える）
- ・聞きもらしがある
- ・個別に言われると聞き取れるが集団では難しい
- ・指示の理解が難しい
- ・話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）

### [話すこと]

- ・適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）
- ・ことばにつまったりする
- ・単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする
- ・思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい
- ・内容をわかりやすく伝えることが難しい

### [読むこと]

- ・初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違
- ・文中の語句や行を抜かしたり、また繰り返し読んだりする
- ・音読が遅い
- ・勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）
- ・文章の要点を正しく読みとることが難しい

## [書くこと]

- ・読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない）
- ・独特の筆順で書く
- ・漢字の細かい部分を書き間違える
- ・句読点が抜けたり、正しく打つことができない
- ・限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書けない

このチェックリストは、2002年に文部科学省における調査研究会が実施した「通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査」使用されたものです。

特別支援教育研究実践委員会「楽しく体験！ソーシャルスキル」のサイトでは、各項目4段階でチェックができ、自動判定も行えます。

学習面に関する困難を調べる項目：<http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/sidou/ld/check.html>